

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-533278(P2008-533278A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-501882(P2008-501882)

【国際特許分類】

C 10 M 169/04	(2006.01)
C 10 M 173/02	(2006.01)
C 10 M 105/74	(2006.01)
C 10 M 133/04	(2006.01)
C 10 M 145/40	(2006.01)
C 10 N 30/00	(2006.01)
C 10 N 30/06	(2006.01)
C 10 N 40/00	(2006.01)
C 10 N 40/32	(2006.01)

【F I】

C 10 M 169/04	
C 10 M 173/02	
C 10 M 105/74	
C 10 M 133/04	
C 10 M 145/40	
C 10 N 30:00	Z
C 10 N 30:06	
C 10 N 40:00	Z
C 10 N 40:32	

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月28日(2009.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a) アルキルアルコキシル化リン酸エステル、
- b) アミン酢酸塩、および
- c) アルキルポリグリコシド界面活性剤

を含むコンベヤー潤滑剤の濃縮組成物。

【請求項2】

ノニオン性界面活性剤が応力亀裂を促進しない、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物が低発泡性である、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

- a) アルキルアルコキシル化リン酸エステルが約1から約20wt%存在し、
- b) アミン塩が約0.5から約25wt%存在し、そして
- c) ノニオン性界面活性剤が約0.5から約10wt%存在する、請求項1～3のい

ずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が水で希釈されて希薄潤滑剤溶液が形成されている、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

低発泡性のコンベヤー潤滑剤の使用溶液組成物であって、

- a ) アルキルアルコキシリ化リン酸エステル、
- b ) アミン酢酸塩、
- c ) アルキルポリグリコシド界面活性剤、および
- d ) 水、

を含み、すべての発泡が発生と同程度の速度で実質的に消失する組成物。